

一般国道115号 相馬西道路  
「今田高架橋」常磐道交差部の橋桁架設作業  
～国内最大級の750t吊りオールテレーンクレーンによる一括架設～

相馬福島道路の相馬西道路は復興のリーディングプロジェクト(復興支援道路)として位置づけられ平成30年度の開通に向けて工事を進めております。

3月より進めてまいりました、相馬西道路の「今田高架橋(仮称)」の架設作業において、このたび、国内最大級の750t吊りオールテレーンクレーンによる常磐自動車道交差部(約35m)の一括架設作業(夜間)を行いますので、お知らせします。

なお、架設作業に伴い常磐自動車道 南相馬IC～相馬IC間は21時から翌6時まで通行止めとなります。ご理解とご協力をお願いします。

1. 日時：平成27年6月3日(水) 架設作業:22:00～5:00(約7時間)  
クレーンを使った桁吊上げは22時頃から1時間程度(ここが見どころです)  
※時間は予定であり多少前後することがあります。  
※悪天候等により延期する場合があります。 750t吊りオールテレーンクレーン  
(予備日:6月4日、6月5日)

2. 場所：一般国道115号相馬西道路 今田高架橋  
※別紙の位置図を参考に願います。



問い合わせ先

<p>【事業に関するお問い合わせ】 国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所 0246-23-2211(代表) 副 所 長 千葉 富彦 (内線204) 工務課長 岩 瀨 誠 (内線411)</p>	<p>【架設作業に関するお問い合わせ】 磐城国道事務所 相馬出張所 0244-35-1145 出張所長 工藤 金充 080-2814-8105 今田高架橋上部工工事 高田機工(株) 0244-32-0013 所 長 塚本 和志</p>
---	---

※発表記者会等:いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、福島建設工業新聞、南相馬市役所記者クラブ

今田高架橋常磐道交差部一括架設 現場案内図

別紙



©2015 Google, ZENRIN



# 国道115号 相馬西道路 (仮称) 今田高架橋 常磐道交差部一括架設

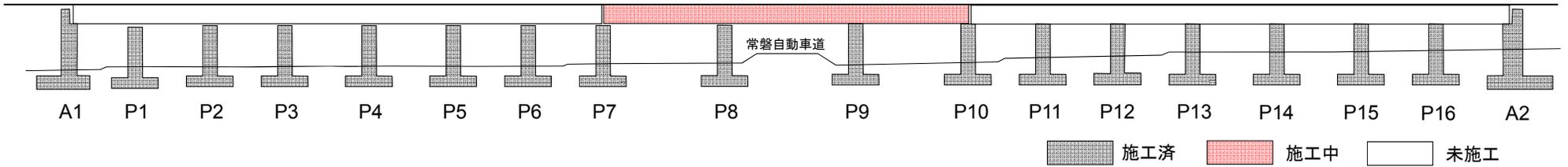
上部工工事施工区間



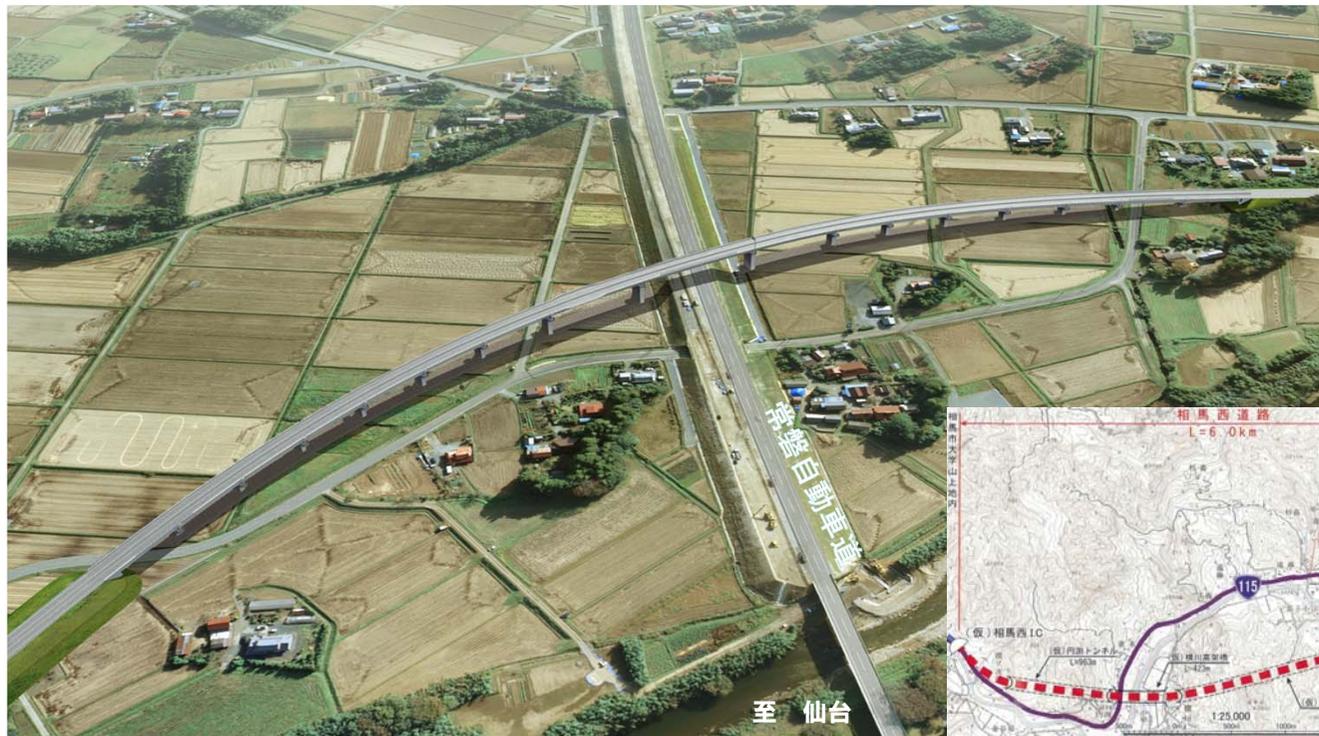
7径間連結PCコンポ橋(L=290.8m)

鋼3径間連続細幅箱桁橋(L=198.6m)

7径間連結PCコンポ橋(L=295.2m)

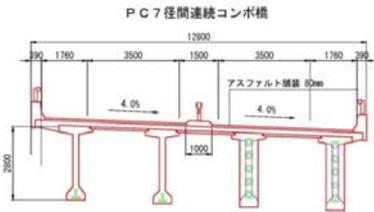


至 東京

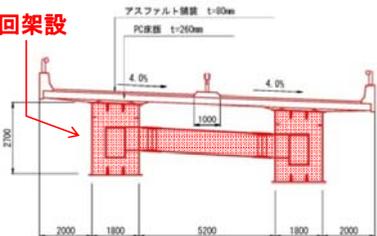


→ 至 相馬西IC

上部工断面図



鋼3径間連続細幅箱桁橋



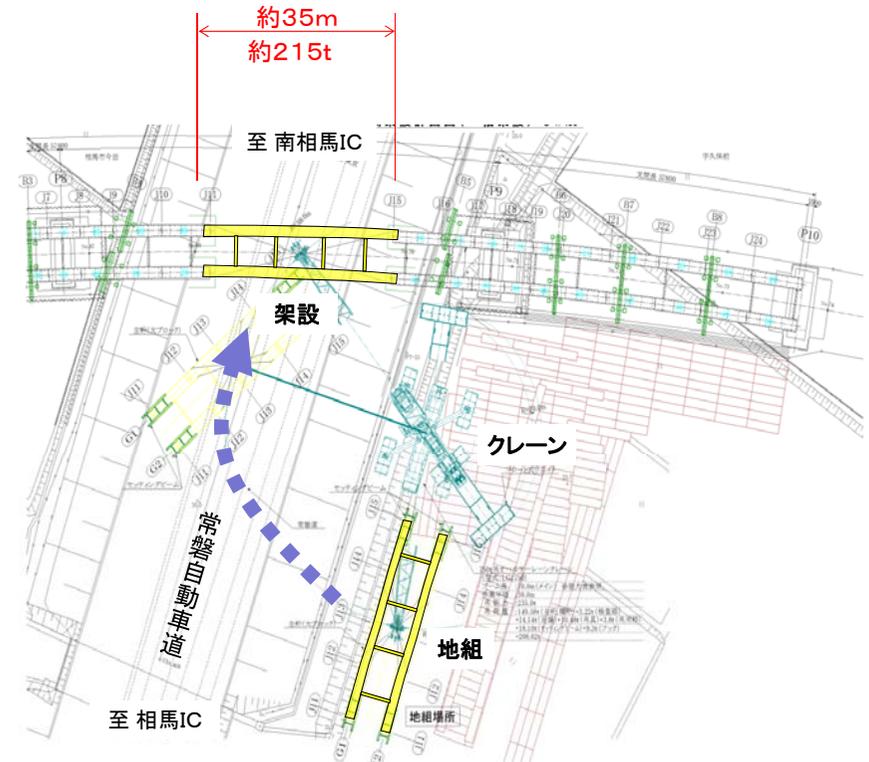
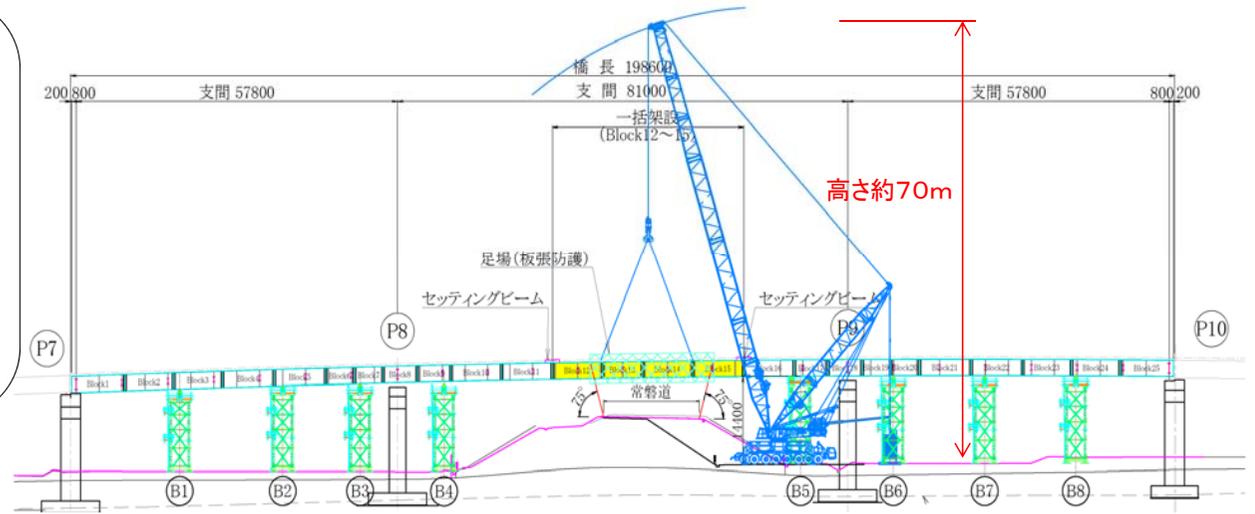
今回架設

← 至 相馬IC



# 国道115号 相馬西道路 (仮称) 今田高架橋 常磐道交差部一括架設

- ・地上で組み立てた桁を、常磐道上に、一晩のうちに一括架設
- ・架設する桁は、長さ約35m、重さ約215t
- ・オールテレーンクレーンでは国内最大級の750t吊りを使用



常磐道西側



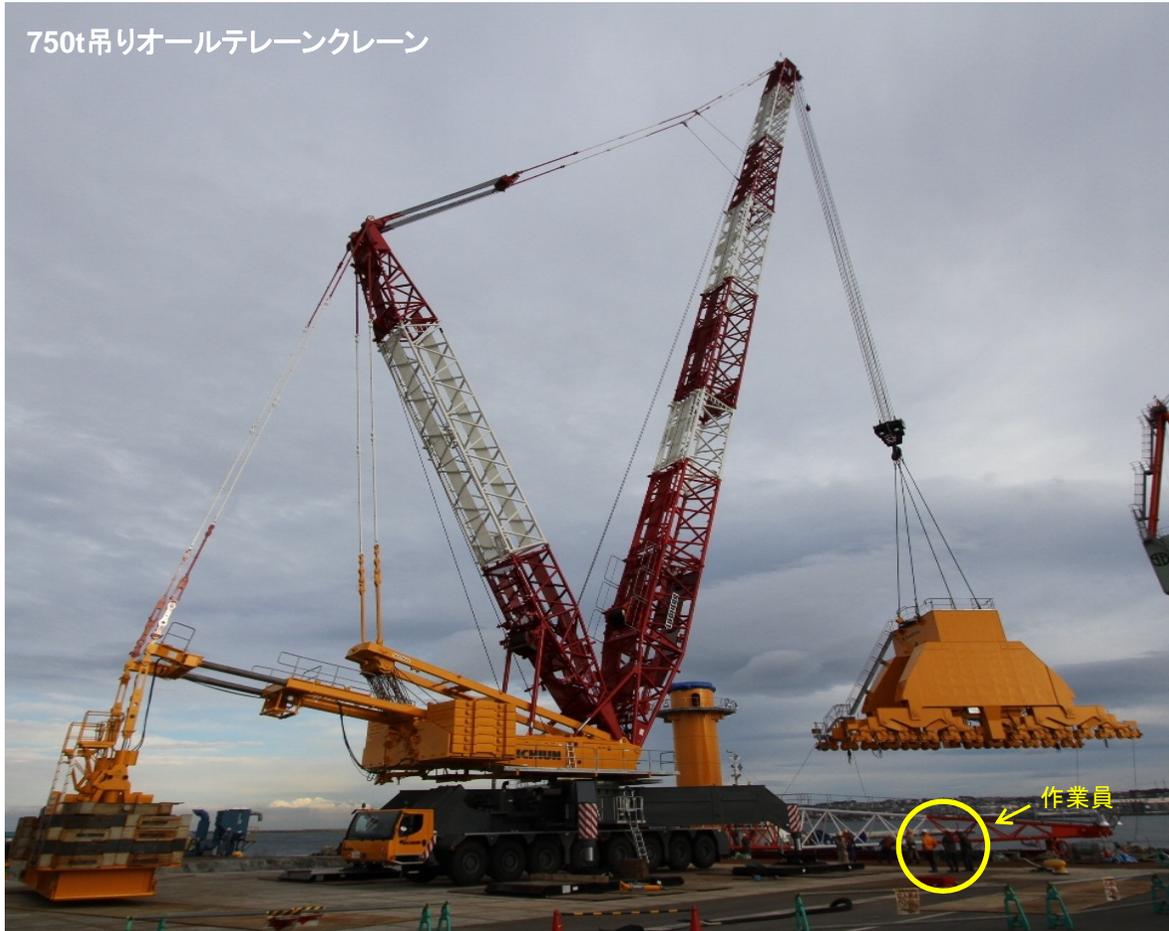
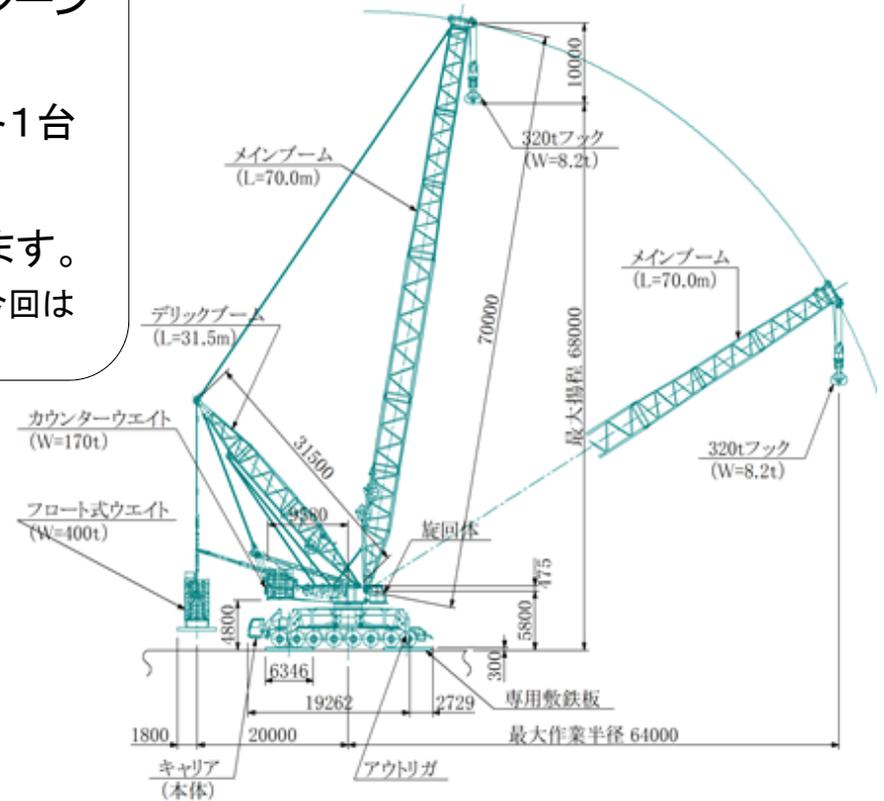
桁仮組立時の状況

# 国道115号 相馬西道路 (仮称) 今田高架橋 常磐道交差部一括架設

## 今回使用するクレーンについて

- ・750t吊りオールテレーンクレーンを使用します。(オールテレーンクレーンとしては国内最大級)
- ・このクレーンの組み立てには、200t クレーン及び60t クレーンを各1台使用し、5日間を要します。
- ・運搬は、自走する本体の他、大型トレーラ39台に分けて運び込みます。  
オールテレーンクレーンとは、走行用とクレーン用に各々運転席を持つ、多軸型(今回は8軸)のタイヤ自走式クレーン(本体は長さ約20m、幅3m)

750t吊オールテレーンクレーン  
(形式: LIEBHERR LG-1750)



# 【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。



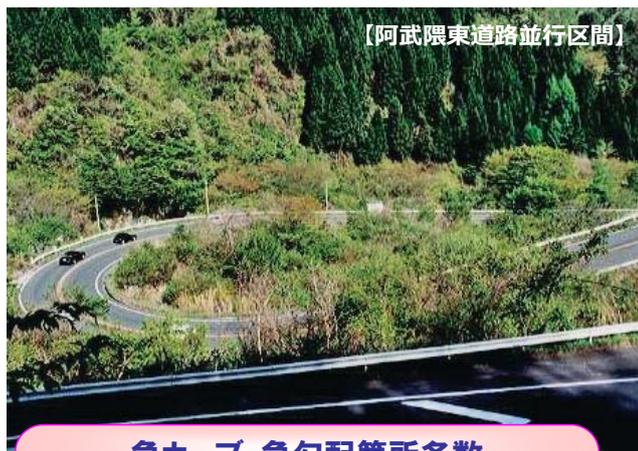
## 国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障



急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

# メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！

はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

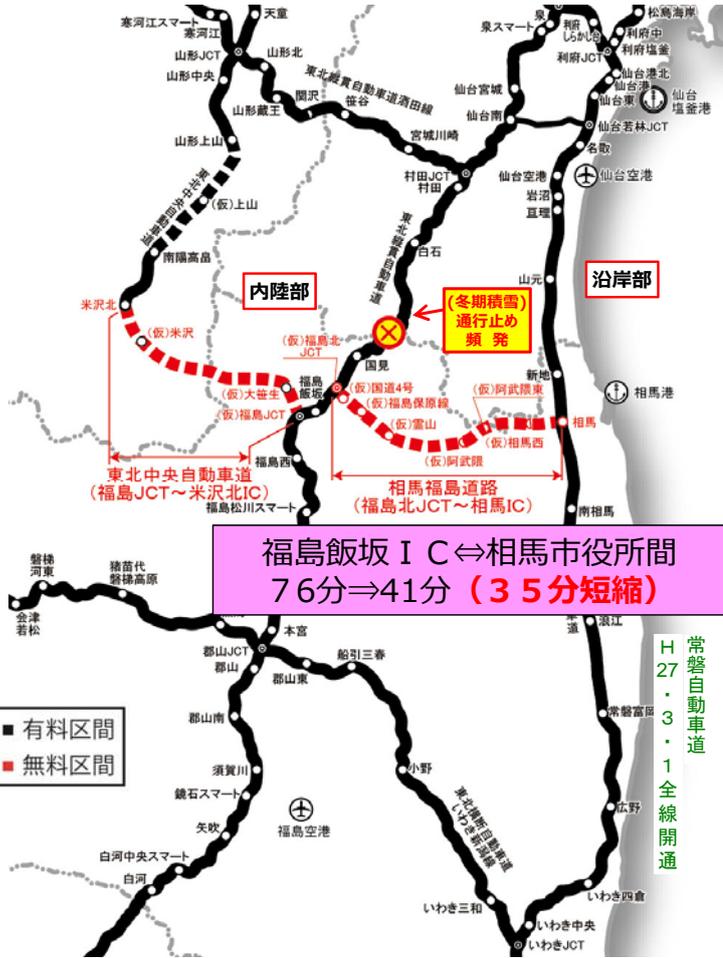
現道115号を利用した原材料輸送における課題

・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している  
⇒大幅な迂回損失が発生



冬期迂回ルート  
迂回率 1.74  
大型車1台当たり約1,700円の迂回損失

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格



福島飯坂 I C ⇔ 相馬市役所間  
76分⇒41分 (35分短縮)

常磐自動車道  
H27・3・1 全線開通

■ 有料区間  
■ 無料区間

# メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



- 緊急輸送道路（第一次確保路線）
- △ 防災上の対策が必要な箇所（26箇所）
- × 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

国道115号は、災害等による通行止めが頻発  
(通行止14回/15年)

※H11～H25

▼落石等により寸断された国道  
国道115号相馬市山上地区（H18年6月）

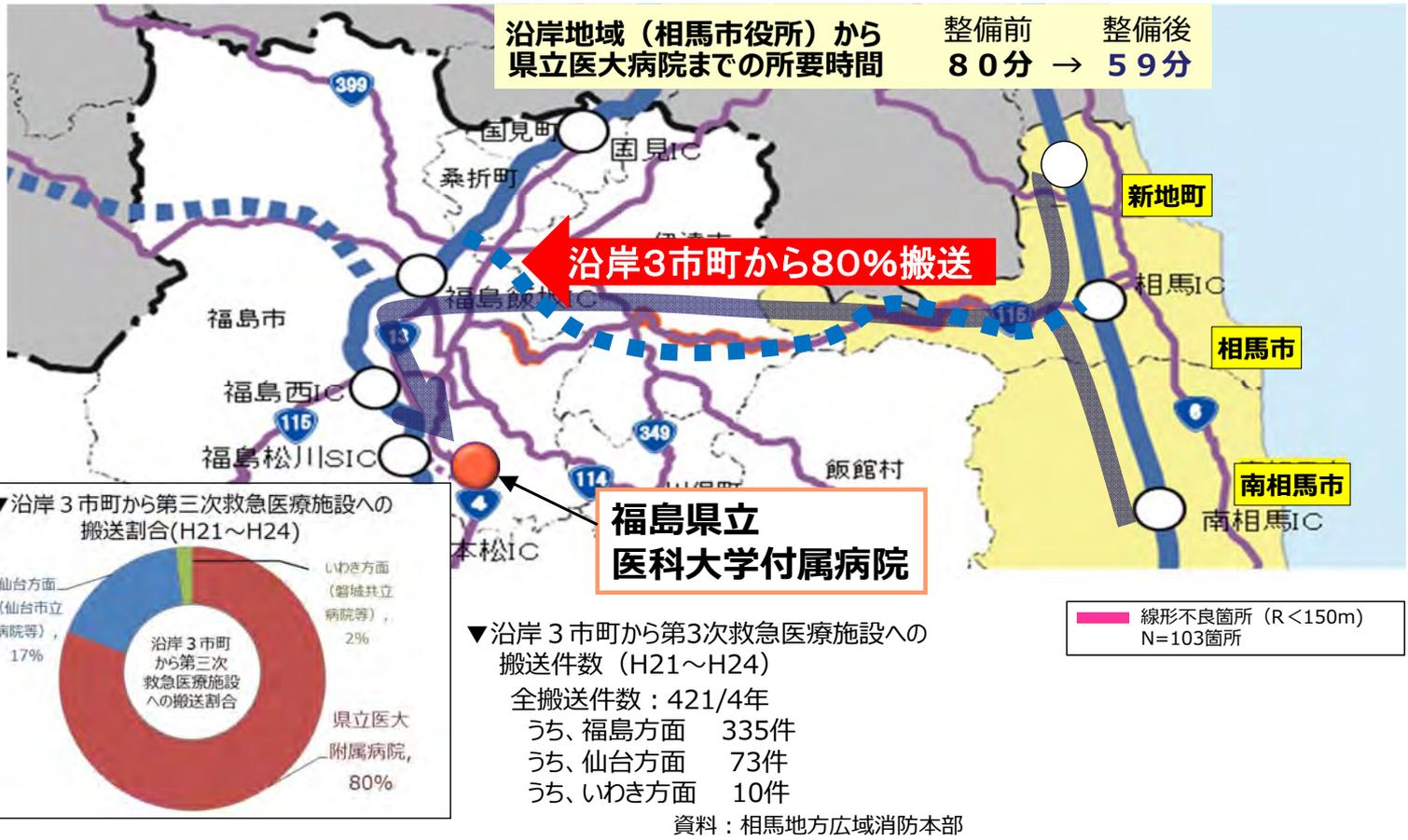


▼豪雪により寸断された国道  
(伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



# メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



# メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

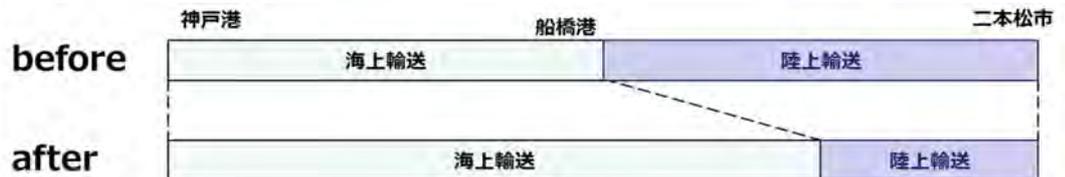
## 《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t  
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港